

第5回講演会報告

講演テーマ：「群馬と環境と技術士の役割」

主催：公益社団法人 日本技術士会 群馬県支部

日時：平成27年3月12日（木）13:00～

場所：群馬産業技術センター

演題・講師：

(1) 「廃棄物処理施設における環境アセスメントの現状と課題」

小林 聖 様（本支部会員技術士（衛生工学、総合技術監理部門）、
（株）環境技研 経営管理部 部長）

(2) 「群馬県における下水処理の現状と課題」

佐藤 孝史 様（本支部会員技術士、（上下水道、建設、衛生工学、総合技術管理部門）、（株）三水コンサルタント 東日本事業本部 技師長）

(3) 「PM2.5の環境問題－高濃度の要因は何か？－」

田子 博 様、（群馬県衛生環境研究所 大気環境係 主任研究員 大気環境係長
博士（環境学））

講演内容：

(1) 及び (2) は「(公社) 日本技術士会 群馬県支部 第1回経験論文集」に掲載。
【本支部HP参照】(3) ではPM2.5の内容の説明がなされた。中国より日本に飛来するPM2.5は主として日本の西部（主に九州）に留まる。関東地区に見られるPM2.5は、この地域にて発生したもので、その発生源は自動車及び畜産由来である。中国発生のPM2.5は本国では、影響は大きいですが、日本では中国程の影響は見られない。有益な講演であった。

